

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

枚方宿歴史的景観保全地区周辺における歴史的景観保全と住環境整備

枚方市

平成29年3月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

平成29年3月21日

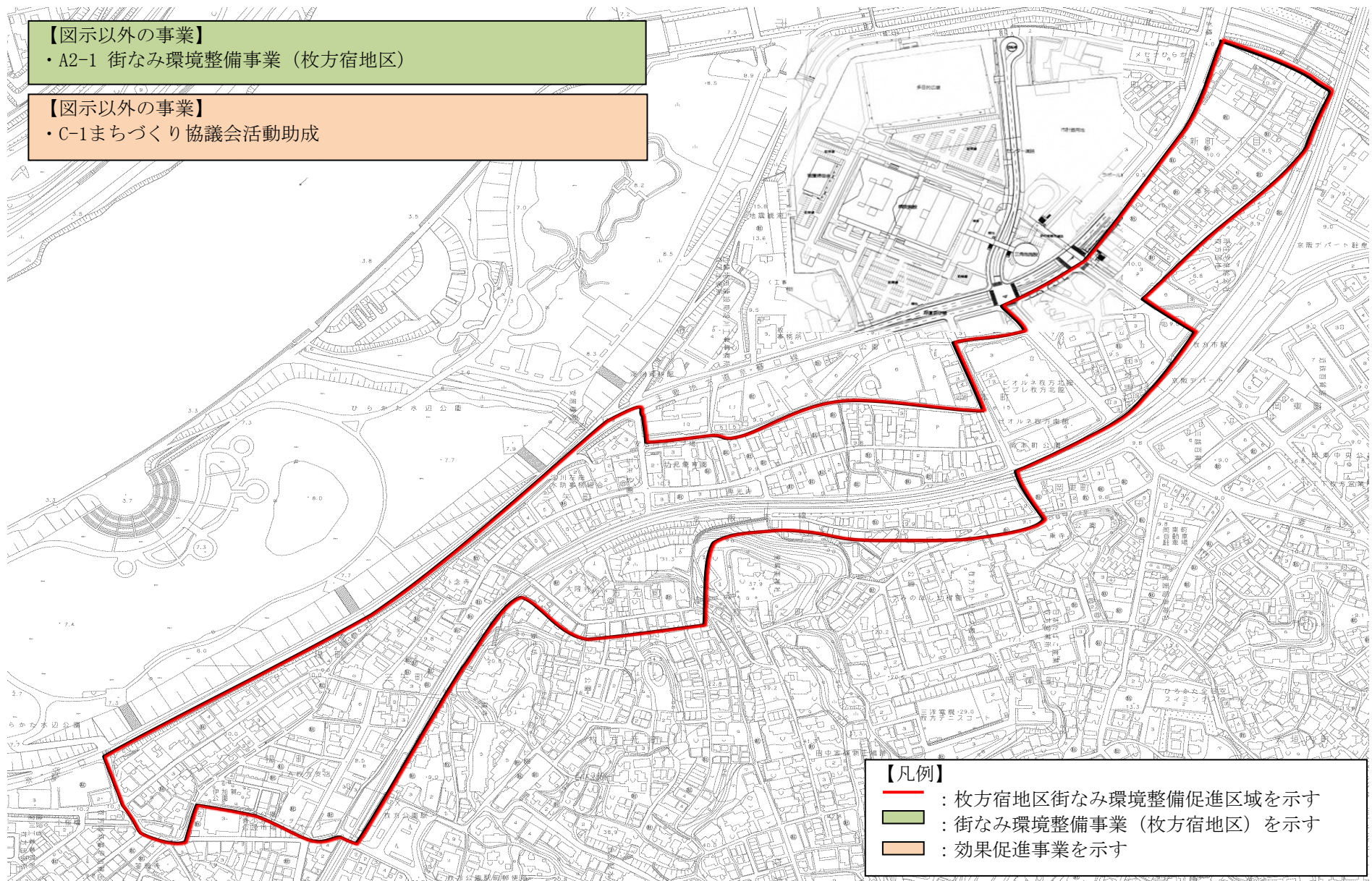
計画の名称	枚方宿歴史的景観保全地区周辺における歴史的景観保全と住環境整備										重点配分対象の該当											
計画の期間	(5年間) 平成29年度～平成33年度		交付対象	枚方市																		
計画の目標	『歴史と文化を色濃く残す枚方宿歴史的景観保全地区周辺において、歴史的景観を保全整備し、魅力ある街並みを形成することにより、商業等の活性化を図るとともに住環境の向上を実現する。』																					
計画の成果目標(定量的指標)	・枚方宿歴史的景観保全地区における満足度																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3">枚方宿歴史的景観保全地区における満足度 (%) (イベントの来場客や地域住民に対して行うアンケート結果により算出)</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29当初)</th> <th>中間目標値 (H31末)</th> <th>最終目標値 (H33末)</th> </tr> <tr> <td>59.0%</td> <td>-</td> <td>64.0%</td> </tr> </table>											枚方宿歴史的景観保全地区における満足度 (%) (イベントの来場客や地域住民に対して行うアンケート結果により算出)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	59.0%	-	64.0%
枚方宿歴史的景観保全地区における満足度 (%) (イベントの来場客や地域住民に対して行うアンケート結果により算出)	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)																			
	59.0%	-	64.0%																			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	36百万円	A	33百万円	B	-	C	3百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	8.3%										
交付対象事業																						
A1 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H29	H30	H31	H32	H33									
合計												0										
A2 基幹事業(住環境整備事業)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H29	H30	H31	H32	H33									
A2-1	住宅	一般	枚方市	間接	民間	街なみ環境整備事業(枚方宿地区)	修景施設整備(住宅等の修景・屋外広告物に対する助成金)	枚方市						33	-	-						
合計												33										
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H29	H30	H31	H32	H33									
合計												0										
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考							
									H29	H30	H31	H32	H33									
C-1	住宅	一般	枚方市	間接	民間	まちづくり協議会活動助成	会議の開催、先進地区の視察等	枚方市						3								
合計												3										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										
C-1	地元組織であるまちづくり協議会が行う活動に対して助成を行い、街なみ環境整備事業(枚方宿地区)の促進を図る。																					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考							
									H29	H30	H31	H32	H33									
合計												0										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	枚方宿歴史的景観保全地区周辺における歴史的景観保全と住環境整備		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	交付対象	枚方市

【図示以外の事業】
 ・A2-1 街なみ環境整備事業 (枚方宿地区)

【図示以外の事業】
 ・C-1まちづくり協議会活動助成



【凡例】
 〓 : 枚方宿地区街なみ環境整備促進区域を示す
 ■ : 街なみ環境整備事業 (枚方宿地区) を示す
 ■ : 効果促進事業を示す

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	大阪府	市町村名	枚方市	区域名	枚方宿
区域現況	区域の概況	<p>枚方宿地区は、江戸時代の「東海道・宿場町」のひとつであり、淀川を上下する過書船の中継港でもあったので、京都・大阪間の交通の要衝として栄えた長さ1,447m、道幅4.5mの規模を誇る東海道屈指の宿場町であった。特に旧東海道沿いは、伝統的様式の町家型住宅が立地し、本瓦葺き、つし2階、出格子に代表される歴史的街なみが残されているのが特徴である。</p> <p>都市機能としては、大阪都心まで約25分、京都四条まで約35分の急行停車駅に隣接するとともに、国道1号などの利便性の高い道路アクセスをもつ市中心部に位置する。また周辺に淀川やひらかたパーク、市役所等の官庁街が併存している。</p> <p>住宅は2階建てを中心に低層住宅が主で、その他中・高層住宅、店舗が複合した土地利用である。</p> <p>現在の枚方宿地区の街なみは、昨今の社会経済や世代交代・ライフスタイルの変化等を背景に、空き家の発生や新しい建築様式が徐々に混入しつつある。</p>			
	道路の現況	<p>地区の中心部には、旧東海道があり、幅員は4m～6m、3分の2が一方通行（東向）となっている。旧東海道では、路面舗装等街なみに調和した道路の美装化を進めている。また、交通量の大きい広域幹線道路が地区に接しているため、通過交通の問題が地区にも派生している。</p>			
	公園等の現況	<p>地区には、4ヶ所の公園があり、その面積は約1%にすぎない。緑地としては「万年寺山」があり、その活用の可能性が残されている。</p> <p>地区に隣接して広大な「ひらかた水辺公園」があり、広域利用の公園として活用されており、地区整備との調整が考えられよう。</p>			
	地区住民のまちづくり活動の概要	<p>「枚方宿地区まちづくり協議会」が平成12年6月に発足して以来、総会、役員会の開催、街なみ・生活環境・商業の各部会で活動している。また、まちづくり先進地区への見学・交流も行っている。</p>			
区域の整備に関する基本計画	整備の目標	<p>枚方宿地区は、「東海道の宿場町」という歴史的環境をもつ地区であり、大阪府景観計画で指定された重点地区であると同時に、枚方市の中心市街地の一画にあり商業地を含むとともに、現に多くの住民が居住する住宅地でもあることから、「枚方宿の歴史を生かした魅力ある空間整備」を目標とする。</p>			
	整備の時期	<p>整備の時期は景観形成の推進のため平成14年から平成33年までとするが、本事業の特性を鑑み、民間の経済、建築動向とも歩調を合わせながら整備を進めることに留意する。</p>			
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等			
		小公園等	<ul style="list-style-type: none"> ・万年寺山・茶屋御殿等の歴史的資源を生かし、史跡広場を兼ねたコミュニティ施設を整備する。 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物が集中する歴史的環境整備ゾーンとその他の生活環境整備ゾーン、商業・業務環境整備ゾーンを設定し、それぞれの現状を踏まえた路面整備、景観阻害物の除去、街路灯、サインの設置をすすめる。 ・主要生活道路である旧東海道を主軸としてコミュニティ道路として修景・整備するとともに、部分拡幅、交差点改良（隅切り）を行う。 ・旧東海道を中心に、地域施設等をつなぐ修景道路のネットワーク化を行う。 ・地区についての理解を深めるため、街なみに調和した案内板、説明板、標識等を設置する。 ・歴史的景観建築物等と一体をなす環境を保全するため、特に必要と認められる樹木等については、その保全に努める。 ・地区整備が進むとともに拠点施設等を訪れる人が増えることから、地区周辺でアクセス容易な場所に自動車駐車場を設置する。 ・防災やコミュニティづくりに役立つ空間や施設を整備する。 			

街なみ環境整備方針説明書

		<ul style="list-style-type: none"> ・地区のにぎわいを取り戻すため、地区の中心部にある伝統的建造物や空き家を活用して歴史交流施設等に利用していく。 ・住民のまちづくり活動を支援する施設として、集会所、外来者休憩所などの他、高齢者にも対応した福祉機能を備えたまちづくり拠点を設置する。 ・拠点・コミュニティ施設の整備にあたっては、木造住宅の住みやすさ、機能、耐震性への工夫などの情報を得ることができる要素を組み込み、伝統的な日本建築の良さをこれからのすまいづくりに生かしていくことを創造できる施設とする。 ・「街づくり協定」に沿った住宅等の建設により街なみの景観の形成をはかる。 ・街道文化をテーマにした景観の形成をすすめる。 ・路面の修景や看板、街灯を歴史的街なみに調和する質の高いデザインへ統一する。 ・のれんやのぼり、ファニチュア類の設置をはかる。 ・旧本陣周辺は本陣の歴史的意義を踏まえた上で、本陣のイメージに調和する整備や修景を行う。 ・道路の修景整備と合わせて、沿道の塀などの修景をはかる。 ・雑然とした通りからうらおいのある街なみへまちをリニューアルするため、電柱や電線を整理するとともに、看板や標識等を整理して、統一的なデザインで通りの景観を作っていく。 ・商業活性化と市街地整備を一体的に取り組み、中心市街地としての活性化をはかる。 ・旧東海道沿いを中心に歴史的街なみに調和する店舗等の修景を行う。 ・旧東海道沿いに見られる空店舗等を活用し、魅力ある集客機能をもつ施設や店舗を整備する。 ・枚方市駅周辺は、駅と周辺のつながりを強めるなどターミナル機能を整備する。 ・枚方市駅周辺は、枚方市の中心部としてさらには広域利用の拠点として、生活者ニーズに対応した施設や業種・業態を整備する。 ・枚方公園駅周辺は、日常利便性に寄与する施設や業種・業態を整備する。 ・枚方公園駅周辺は、ひらかたパークなどとのつながりを強め、交流空間となるような案内施設等を整備する。
住宅等の整備に関する基本事項	住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・古い町家を現代の生活にふさわしい快適な住居とするため、整備や修復の見本となるモデルをつくり、町家での居住の提案をしていく。 ・価値のある伝統的な建物を修復・保存していくため、建物外観の修景手法の提案を行う。 ・高齢者にとって安全、安心が確保される住宅についての設計指針の提示と改良への支援を行う。 ・若い世代が住める住宅建設を促進する。そのため街なみに調和する中低層の若い世代の感性に合う集合住宅等の建設を促す。 ・共同建て替えによる土地の有効活用、住宅経営による生活再建築と合わせて老朽住宅の改良をはかる。 ・協定に基づき、伝統的建造物の修理とその他の建築物等の修景を行う。 ・外観を修景基準に沿って修理・修景する場合、その経費の一部を助成する。 ・構造的に安全な住宅となるよう耐震補強を促進する。 ・健康な住宅となるよう健康・環境にやさしい材料・工法を普及させる。 ・住みやすい住宅となるよう多様なライフスタイルに対応できる計画を支援する。 ・建築物等に付属する広告物、エアコン室外機等の野外設置物についても、歴史的街なみ景観に配慮するものとして修景する支援を行う。
	敷地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の建て替えにあたっては、歴史的な敷地割り構成をできるだけ保存し、過小敷地が生じないよう誘導するとともに協定に基づき、街なみとの調和のとれた形態とする。
その他の事項		

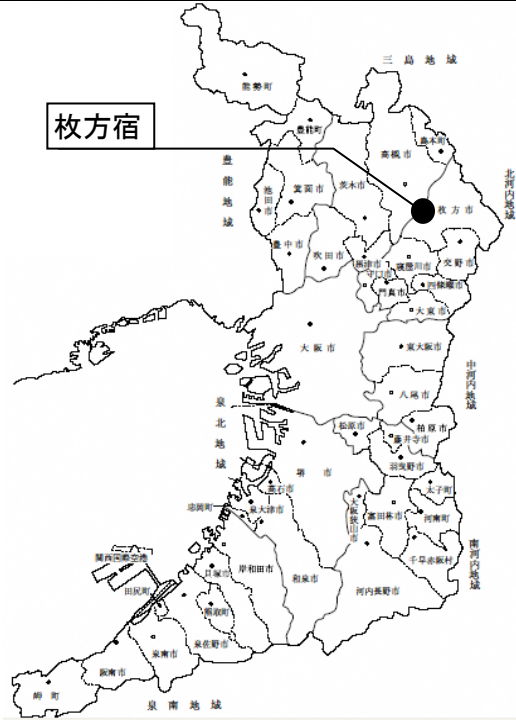
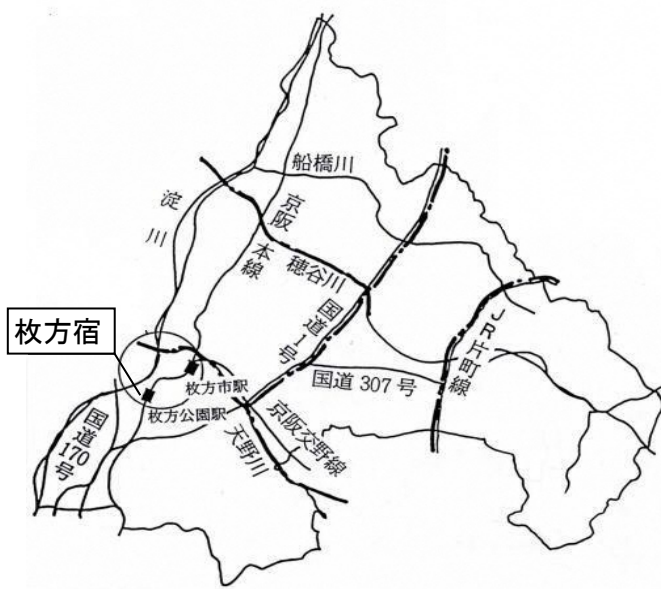
街なみ環境整備事業 説明図

①案内図・位置図

枚方宿

地区

案内図



位置図

